

指導事例の説明

共働き家庭が主流となり、育児介護休業法の改正に伴い、産後パパ育休（出生時育児休業）制度が創設され、若い世代を中心に育児休業を取得する男性も増えています。一方で、性別役割分担意識は根強く残り、家事・育児を担う女性は多く、夫婦の家事時間を比べると圧倒的に女性が担っている時間が多いのが現状です。

今回の授業では、男女の家事・育児の分担を考える活動をとおして、どのようにしたら家事・育児の男女格差をなくせるか考えます。そして、自らがもつ人権意識を見直し、日常生活における女性の人権に配慮し、家庭生活を担う一員として互いに協力して家事・育児に取り組む意欲や実践力を養います。

本時の目標

- ・ 新生児が生まれた夫婦を想定し、男女が協力して家事・育児を行うシミュレーションをとおして、固定的な性別役割分担意識にとらわれない家庭生活を考える。

人権教育の視点

- ・ どのようにして家事・育児の男女格差をなくせるか考え、協力して家事・育児に取り組もうとする。
(実践力)

生かしたい生徒

- ・ 生徒 A は、家庭では家事を進んで行っており、学級内では周囲の意見を尊重しつつ、自分の意見をしっかり述べる様子が見られる。今回の授業では、この生徒のよさを生かして、生徒達から多様な意見を引き出すことで、家事の楽しさややりがいを学級全体に波及させ、男女が協力して家事・育児を行う態度を身に付けさせたい。

人権教育の目標を踏まえた次の発達段階につなげるポイント

本時の男女の家事・育児分担を考える活動をとおして、女性の人権に目を向け、日常生活における人権への配慮が態度や行動につながることを目指します。さらに次の発達段階である成人の目標につなげていくために、「家事・育児のシミュレーション」を行い、家庭生活における男女格差という女性の人権課題を意識させます。自らがもつ人権意識を振り返り、男女が互いに協力して家事・育児に取り組むことの当事者意識を喚起させると同時に、「家事・育児のシミュレーション」をきっかけに、様々な女性の人権問題へ視野を広げ、日常生活における人権への配慮、態度や行動につながる人権意識を高め、人権尊重社会の形成者として必要な資質や能力を養います。

展開

このような特性のある児童生徒、いませんか？
【先を見通せない・やるべきことになかなか取り組めない】

特別支援教育の視点を
踏まえた支援

	学習活動	・指導上の留意点 ◎人権教育上の配慮	資料・準備物
導入	1 学習課題を確認する。 家事・育児の分担を見直すことをとおして、よりよい家庭生活について考えよう。	・2人1組になるよう指示する。 ◎可能な限り、ペアが男女1人ずつになるよう計画する。	・ワークシート①
展開	2 赤ちゃんのお世話で必要なことを書き出して検討し、確認する。 3 赤ちゃんの生活に合わせて、いつだれが赤ちゃんのお世話をするか、家事を行うか考える。 4 男女のどちらかに偏っていないか、偏っていた場合、どこを改善するかを考える。	・赤ちゃんが泣いている理由を見て、必要なお世話を2人で考えるよう声かけする。 ・自分が赤ちゃんだったころに自分を育ててくれた人がどのようなことをしてくれたかを伝え、考えるヒントを与える。 ・夫もしくは妻のどちらかを担当し、それぞれがお世話と家事をどう分担するかを考え、具体例を元に時系列で書くよう説明する。 ・偏りがあった場合、どちらが対応するかを考え直し、改善するよう指示する。 ◎性別役割分担について説明し、それぞれの生徒がやるべきことを考えさせることをとおして、よりよい家事・育児の分担や家庭生活の充実に努めようとする態度を育成する。(実践力)	・ワークシート② 「赤ちゃんとの生活シミュレーションシート」
ふりかえり	5 授業をとおして気付いたことや考えたこと、これからの自分の生活に生かしていきたいこと等をまとめる。	・赤ちゃんのお世話は思っていた以上にやることが多いことや、お互いが協力して行うことが重要であることを全体で確認する。 ◎家事・育児について男女格差をなくし、協力して取り組むことを実践するよう伝える。 ・こどもの成長への喜びなども最後に伝える。	・ワークシート①

学習課題を、カードや板書、分かりやすい言葉で伝えて、活動の見通しをもてるようにしましょう。

「考える」「書く」「話し合う」などの活動内容と時間をはっきり伝えましょう。

意見を書くカードやタブレット、ホワイトボードなどがあると良いですね。

まず、教師が生徒の考えを積極的に認めることで、互いの考えを認め合えるような雰囲気作りをしましょう。

補助教材・補助資料等

・ワークシート①・②（生徒の実態に応じてアレンジ可）

赤ちゃんのお世話、誰がする!?
 赤ちゃんのお世話、誰がする!?
 赤ちゃんのお世話、誰がする!?
 二人で赤ちゃんのお世話を自分たちの生活行為を行う。誰が、いつ、何を?

場面設定

赤ちゃんは生後14日、父親・母親ともに育児休業中。

二人で赤ちゃんのお世話を自分たちの生活行為を行う。誰が、いつ、何を?

午前	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
赤ちゃん	睡眠	睡眠・覚醒	おしっこ・うんち	ずいなく	睡眠・覚醒	おしっこ	ずいなく	睡眠	睡眠	睡眠	おしっこ	睡眠	おしっこ
パパ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
ママ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
午後	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
赤ちゃん	ずいなく	睡眠	睡眠・覚醒	おしっこ	睡眠	沐浴	ずいなく	睡眠	睡眠	睡眠	おしっこ	覚醒	くずる
パパ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
ママ	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

【赤ちゃんのお世話】
 授乳 おむつ替え
 あやす・歌う 抱っこ
 あやす・抱っこ

【生活行為】
 睡眠 起床・身支度
 食事 入浴
 食事作り 食器洗い
 掃除 自由時間
 洗濯 買い物